

科目名	児童福祉論Ⅰ 社会福祉各論Ⅰ (児童福祉)
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：我が国の児童・家族の現状と児童福祉の必要性について学生が十分に理解をすることを到達目標とする。 テーマ：我が国の児童・家族の現状と児童福祉政策の実態
授業の概要	我が国の子どもや家族の現状とニーズを把握し、これに対する社会福祉政策がどのように進展し
授業計画	1. オリエンテーション 授業内容の解説と自己紹介 2. 児童福祉の理念 3. 児童福祉の概念と歴史 4. 現代社会と児童家庭福祉 5. 少子・高齢社会における福祉課題 6. 児童福祉の法体系と実施体制 7. 児童福祉法 8. 母子保健 9. 児童福祉法に基づく障害児の福祉 10. 保育 11. 児童虐待 12. ひとり親家庭の福祉 13. 児童虐待防止と学校の役割 14. 児童福祉援助活動の実態 15. 期末試験
学期	前期
単位数	2
担当者	齋藤尚子
齋藤尚子	学生に対する評価 出席状況30% (毎回出席を取る)、レポート40%、期末試験30%で評価する。 その他 児童福祉は政治や経済などと大きく関連しているので、社会の動きに関心を持つこと。

科目名	児童福祉論Ⅱ 社会福祉各論Ⅱ (児童福祉)
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：我が国の児童・家族の現状と児童福祉の必要性について学生が十分に議論できることを到達目標とする。 テーマ：我が国の児童・家族の現状と児童福祉政策の実態
授業の概要	我が国の子どもや家族の現状とニーズを把握し、これに対する社会福祉政策について議論を行う。 さらに、現在の子どもを取り巻く社会の実態を理解し、諸外国(オランダ・ドイツ)の取り組みとの比較・検討を行う。
授業計画	1. オリエンテーション 授業内容の解説と自己紹介 2. 児童福祉の理念 3. 児童福祉の概念と歴史 4. 現代社会と児童家庭福祉 5. 少子・高齢社会における福祉課題 6. 児童福祉の法体系と実施体制 7. 児童福祉法 8. 母子保健 9. 児童福祉法に基づく障害児の福祉 10. 保育 11. 児童虐待 12. ひとり親家庭の福祉 13. 児童虐待防止と学校の役割 14. 児童福祉援助活動の実態 15. 期末試験
学期	後期
単位数	2
担当者	齋藤尚子
齋藤尚子	学生に対する評価 出席状況30% (毎回出席を取る)、レポート40%、期末試験30%で評価する。 その他 児童福祉は政治や経済などと大きく関連しているので、社会の動きに関心を持つこと。

科目名	仏教心論
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：仏教における心の論じ方を学び、併せて、現代の脳/心の哲学における論点との接点・乖離点についての知見を習得すること テーマ：仏教における心の論じ方
授業の概要	心について、ブッダの教えの中では、直き心として、あるいは、日々刻々に移り変わる心として説き示されることがある一方で、(死後)上昇して行く心について説かれることがある。そして、ブッダ以後には、無心と呼ばれる心が、あるいは、覚りを求める心が、教義解釈上の問題となることある。これらの心を通る諸議論を考察する。
授業計画	1. 導入 2. ブッダの言葉の伝承(『経』)から学ぶ「心」 3. (同上、『ダンマパダ』・『スッタニパータ』から) 4. アピダルマ(『論』)において分析された「心」 5. (同上、『阿毘達磨俱舍論』から) 6. (同上) 7. 大乘論書において考察された「心」 8. (同上、『無心』から捉える「心」の二側面) 9. (同上、『唯心』という捉え方) 10. (同上、『唯識』という捉え方) 11. 生命倫理の分野における脳/心についての諸論点 12. 脳神経倫理の分野における脳/心についての諸論点 13. 心について考えている心(という言語表現)の問題について 14. (同上) 15. 学年末試験
学期	後期
単位数	2
担当者	室寺義仁
室寺義仁	学生に対する評価 学年末の論述式試験(60%)に、授業という学術的な対話の場での議論内容・プレゼンテーション(40%)によって評価する。 その他

科目名	スピリチュアルケア援助論Ⅲ
授業の到達目標及びテーマ	到達目標：心理面接の基本的知識と技能について学ぶ テーマ：カウンセリング
授業の概要	この講義では、心理面接(カウンセリング)の基本的な過程及び基本的知識と技能について学びます。また、後半では実際にロール・プレイを通じて、学んだ知識を深めていきます。
授業計画	1. カウンセリングの定義と種類 2. カウンセリング関係の3段階 3. 初回面接とアセスメント 4. 面接初期の諸問題(1) 5. 面接初期の諸問題(2) 6. 面接中期の諸問題(1) 7. 面接中期の諸問題(2) 8. 面接後期の諸問題(1) 9. 面接後期の諸問題(2) 10. 転移の問題 11. 逆転移の問題 12. 面接技法上のその他の諸問題 13. ロール・プレイ(1) 14. ロール・プレイ(2) 15. まとめ
学期	前期
単位数	2
担当者	森崎雅好
森崎雅好	学生に対する評価 出席30%、レポート70% その他 カウンセリングは、人と人との生きた交流が基本です。知識や理論は、旅行時の地図のような役割を果たします。しかし、実際にその場所に行くと、地図には描かれていない様々な生き生きとした景色に出会います。同様に、臨床の現場でも、理論にはないその時にしか味わえない「あたたかさ」を体験します。日々、知識と体験を融合するべく努力されることを望みます。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標:スピリチュアルケアにおける援助者の基本として、自分自身の生育歴に心を開いて向かい合う力を養う。同時に、他者が生育歴に向かい合うプロセスに寄り添う姿勢を身につける。 テーマ:援助者としての自己を見つめる。
スピリチュアルケア援助論Ⅳ	
学期	授業の概要 最初に楽器を使ったチェックインとチューニングを行い、構成的エンカウンターグループ様式による体験学習を行う。家系図、コンステレーションなどの手法で生育歴のふりかえりを進める。
後期	授業計画 1. 自己紹介と授業の流れについて 2. 家系図を作る 3. 出家 (pabbajā) の意味を探る 4. 師弟関係における互恵性に学ぶ 5. 業と世代間伝達について 6. 不在による縁 (natthi paccayo) について学ぶ 7. 親しく依る縁 (upanissaya paccayo) に学ぶ 8. 中間のふりかえり 9. コンステレーションを読み解く (幼少時) 10. コンステレーションを読み解く (思春期) 11. コンステレーションを読み解く (死者との関係) 12. 「なぜスピリチュアルケアに関心を抱いたか」 13. 「なぜスピリチュアルケアに関心を抱いたか」 14. ふりかえりとまとめ 15. この授業を将来につなげるために
単位数	テキスト 『スピリチュアルケアへのガイド』 窪寺俊之・井上ウイマラ 青海社
2	参考書・参考資料等 『認知症のスピリチュアルケア』 エリザベス・マッキンレー、コリン・コレヴィット 新興医学出版社
担当者	学生に対する評価 出席と参加態度 (50%)、期末レポート (50%) で評価する。
井上ウイマラ	その他 自分の心の奥深くに触れるトレーニングであるため、それなりの心の強さを必要とします。十分に配慮はいたしますが、自分に向かい合うためのしっかりとした心構えと決心をしたうえで参加してください。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標:仏教の智慧とキューブラー・ロスの死の受容への5段階説の背景を比較しながら理解することによって、スピリチュアルケアを展開するための理論的な基礎を培う。 テーマ:死の受容の表と裏を学ぶ。
スピリチュアルケア講読演習Ⅰ	
学期	授業の概要 前半は、テキストを輪読しながら丁寧に吟味する。後半は、5段階の各章を分担して要約しプレゼンテーションして、議論を深めてゆく。
前期	授業計画 1. 自己紹介と授業の進め方。 2. キューブラー・ロスの人生について。 3. 第1章「死の恐怖について」を読む。 4. 第2章「死とその過程に対するさまざまな姿勢」 5. 死念 (marāṇa-sati) について学ぶ 6. 対象喪失理論について 7. 仏教的悲嘆ケアの可能性を探る 8. 第3章「第一段階:否認と孤立」 9. 第4章「第二段階:怒り」 10. 第5章「第三段階:取り引き」 11. 第6章「第四段階:抑鬱」 12. 第7章「第五段階:受容」 13. 戒禁取の超越と宗教儀礼の意味 14. 解脱はケアに何を提供するか 15. ふりかえりとまとめ
単位数	テキスト 『死ぬ瞬間』 E・キューブラー・ロス 中公文庫
2	参考書・参考資料等 『人生は廻る輪のように』 E・キューブラー・ロス 角川文庫 『対象喪失』小此木啓吾 中公新書 『人生で大切な5つの仕事』井上ウイマラ 春秋社
担当者	学生に対する評価 出席と参加態度 (30%)、期末試験あるいはレポート (70%) で評価する。
井上ウイマラ	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標:スピリチュアルケアの実際を現代日本の精神的状況から捉える。 テーマ:近代西洋における精神の危機的状況を東洋の精神的状況への深い理解にもとづいて論ずるユングの視点を通じて、現代日本におけるスピリチュアルケアの最適な方向を考えたい。
スピリチュアルケア講読演習Ⅱ	
学期	授業の概要 曼荼羅、ヨーガ、道教など、心理学的関心からのユングの東洋精神への取り組みには、近代西洋における精神的状況への危機感が大きな影響を与えている。現代日本の精神的状況を見るとき、人類の危機に対してユングが残した文明論的警告は、大いに傾聴すべきことと思われる。彼の関連の論考を解説しながら、現代日本人にとってもっともふさわしいスピリチュアルケアのあり方を考えていくことにしたい。
後期	授業計画 1. 序 なぜユングなのか、 2. 序 なぜ東洋なのか 3. ヨーガと西洋 (Yoga and the West) 4. / 5. / 6. / 7. / 8. / 9. / 10. 東洋的瞑想の伝統と心理学 (The Psychology of Eastern Meditation) 11. / 12. / 13. / 14. むすび 15. 試験
単位数	テキスト 必要に応じて資料配布 C.G.Jung, Psychology and the East, The Collected Works of C.G.Jung, Princeton Univ.Press 1978.
2	参考書・参考資料等 参考にするべきものは、必要に応じて適宜紹介。
担当者	学生に対する評価 各講時における発表と論議への参加態度を50% 定期試験の成果を50% とし、合計60/100をもって合格とする。
生井智紹	その他 英文でテキストを読むことから、西洋の諸概念と東洋の精神を比較考察することも演習したい。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標:カウンセリングの基礎的知識と技能を、諸理論を学ぶことでさらに知見を広げ、深めていく。 テーマ:様々な理論と技能を知る。
スピリチュアルケア援助論Ⅴ	
学期	授業の概要 前期で学んだ基本的なカウンセリングの過程及び知識や技能を、諸理論を学ぶことでさらに知見を広げ、深めることを目的とします。本講義では、主な理論とその技法を紹介していきます。自身にあった理論と出会い、そして、ある理論を選択することは、その個人の「人間に対する態度」を示しています。自身の人間観と向き合う機会を提供することも本講義の目的としています。
後期	授業計画 1. 精神分析 (1) 2. 精神分析 (2) 3. 精神分析 (3) 4. 箱庭療法 (1) 5. 箱庭療法 (2) 6. クライアント中心療法 (1) 7. クライアント中心療法 (2) 8. クライアント中心療法 (3) 9. 認知行動療法 (1) 10. 認知行動療法 (2) 11. プレイセラピー (1) 12. プレイセラピー (2) 13. 家族療法 (1) 14. 家族療法 (2) 15. まとめ
単位数	テキスト 国分康孝『カウンセリングの理論』(誠信書房 1980)
2	参考書・参考資料等 適時、紹介します。
担当者	学生に対する評価 出席30%、レポート70%
森崎雅好	その他 本講義で紹介する理論は、基本的な理論です。現在も臨床心理学の理論は日々発展しています。皆さんにとって他の様々な理論を学ぶきっかけになること、自身の人間観を養うことにつながるように、本講義をすすめることもテーマの一つです。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：いのちへの配慮とみまもりの態度を育成する テーマ：いのちのみまもりと具体的なケア
スピリチュアルケア援助論Ⅵ	
学期	授業の概要 真言密教的観点を「生かせいのち」の標語から深く理解し、現実のいのちの様々な在り様への配慮とみまもりの実際を検討する。
前期	授業計画 序 生かせいのち、ということ 1. 健やかないのち 3. 現代社会におけるいのち 4. いのちの現実 5. 生老病死と縁起説 6. いのちのつながり 7. 疎外感と無縁社会 8. つながりの中のいのちたち 9. 受養離—おなじいのちを多様に生きる 10. いのちの諸相の認識と具体的な見まもり 11. (同上) 12. (同上) 13. (同上) 14. まとめ 15. 学期末試験
単位数	テキスト 特に指定しない。参考資料を、配布する。
2	参考書・参考資料等 授業の中で適宜紹介する。
担当者	
生井智紹	学生に対する評価 各講時における発表と論議への参加態度を50% 定期試験の成果を50% とし、合計 60/100 をもって合格とする。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文を作成するために必要なアイデアを膨らませる力、関係資料や先行研究についての情報収集力、分析力、そして論文として表現するための構成力を養う。 テーマ：卒業論文作成のための準備トレーニング
スピリチュアルケア演習Ⅰ-1	
学期	授業の概要 研究テーマについてのブレインストーミング、KJ法によるマッピング、ショート・プレゼンテーション、ディスカッションなどによって各自のアイデアを暖めてゆく。
前期	授業計画 1. 自己紹介と授業の流れについて 2～5. アイディアを浮かばせる、膨らませる作業。 6～10. 情報を集めて整理する作業。 11～15. 概要を作成し、発表して議論する。
単位数	テキスト 『スピリチュアルケアへのガイド』窪寺俊之・井上ウイマラ 青海社
1	参考書・参考資料等 そのつど必要に応じて紹介する。
担当者	
井上ウイマラ	学生に対する評価 出席と参加態度 (30%)、作成したレポート (70%) によって評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文を作成するために必要なアイデアを膨らませる力、関係資料や先行研究についての情報収集力、分析力、そして論文として表現するための構成力を養う。 テーマ：卒業論文作成のための準備トレーニング
スピリチュアルケア演習Ⅰ-2	
学期	授業の概要 前期で暖めた各自の概要を実際のレポートに作文して表現してゆく作業を個人指導する。レポートを発表し、互いに批評し合いながら学びを深めてゆく。
後期	授業計画 1. 授業の流れの確認 2～8. 各自がレポートを作成する作業と個人指導。 9～14. レポートを発表し、批評しながらお互いに学びあう。 15. ふりかえりとまとめ。
単位数	テキスト 『スピリチュアルケアへのガイド』窪寺俊之・井上ウイマラ 青海社
1	参考書・参考資料等 そのつど必要に応じて紹介する。
担当者	
井上ウイマラ	学生に対する評価 出席と参加態度 (30%)、作成されたレポート (70%) によって評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：保育園や老人施設での実習体験を通じて、信頼関係の構築とチームアプローチのあり方について実践的な知を獲得する。現場では何が求められるのかを体験的に理解する。 テーマ：実践現場を知り、スピリチュアルケアを展開するために必要な力について考える。
スピリチュアルケア臨地実習Ⅰ	
学期	授業の概要 夏休みに保育園と老人施設でそれぞれ3日間の実習体験をする。前期に4回の準備授業、後期の前半に4回のふりかえり授業をする。具体的な日程に関しては、最初の授業で参加者の都合を考慮しながら合議する。
集中	授業計画 1. 自己紹介と実習全体の流れについて 2. 生育歴について 3. 保育園実習に向けて 4. 老人施設実習に向けて (前期) 5. 保育園での実習報告 6. 老人施設での実習報告 7. スーパービジョン 8. 全体の総括 (後期)
単位数	テキスト 『スピリチュアルケアへのガイド』窪寺俊之・井上ウイマラ 青海社
2	参考書・参考資料等 『子どもの心のありかに寄り添う』井上ウイマラ 主婦の友社 『パリエーション』ナオミ・フェイル 筒井書店 『昏睡状態の人と対話する』A. ミンデル NHKブックス 『認知症のスピリチュアルケア』エリザベス・マッキンレー、リン・ドレイヴィット 新興医学出版社
担当者	
井上ウイマラ	学生に対する評価 原則として、実習の5分の4以上の出席を評価の条件とする。実習日誌と報告 (50%)、授業への参加態度 (50%) によって評価する。
	その他 参加者の都合を考慮しながら5コマ目の時間に授業を組みます。例年は火曜日の5コマ目です。随時連絡を取り合って、チーム意識を持って取り組んでください。最初の授業日についての掲示に注意してください。

科目名 臨床心理学心理テスト実習Ⅰ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：発達検査、知能検査の基礎知識とアセスメントを学ぶ。 テーマ：軽度発達障害をもつ子どもの理解と援助
	授業の概要 軽度発達障害（学習障害や注意欠陥/多動性障害、高機能自閉症など）を持つ子どもたちの理解と支援のためには、特に認知的な面での正確なアセスメントが必須です。本講義では、様々な発達検査及び知能検査の基礎的な知識とアセスメントの実践を学びます。受講生が検査者と被験者の役割をとりながら学習を進めます。特に、新版K式発達検査とWISC-Ⅲ知能検査の習熟に焦点をあてています。乳幼児健診での障害の早期発見、学童期以降の軽度発達障害のアセスメントと具体的な援助への応用について、実習と事例を通じて実施法から解釈までを講義します。
	授業計画 1～4. 発達検査について学ぶ（新版K式・遠城寺式・DAMグッドナイフ人物画など） 5～7. 知能検査について学ぶⅠ（田中ビネー・ITPA・K-ABC） 8～10. 知能検査について学ぶⅡ（WISC-Ⅲ・WPPSI・WAIS） 11. 心理アセスメントの3つの要素（検査技術・解釈・指導への活用） 12. 心理アセスメントの内容（テスト・バッテリー） 13. 報告書の作成方法と結果の伝え方について 14. 発達検査の結果の解釈と指導支援への展開 15. アセスメントから個別の指導計画作成へ
	テキスト 上野一彦他『軽度発達障害の心理アセスメント』（日本文化科学社 2005年） 上林靖子他『注意欠陥・多動性障害の診断・治療ガイドライン』（じほう 2003年）
	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
	学生に対する評価 出席30%、レポート70%
	その他
	学期 前期
	単位数 2
	担当者 森崎雅好

科目名 臨床心理学心理テスト実習Ⅱ	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：心理検査の査定技法の習得を目指す。 テーマ：臨床場面で用いられている投影法の実施方法及び解釈について学ぶ。
	授業の概要 臨床場面で一般に用いられている心理検査（投影法）とともに、査定技法の基礎の習得を目指します。心理査定とは、様々な情報の収集とその分析による来談者の理解及び処遇方針決定のための方法と過程のことをいいます。そのためには、来談者自身の人格特性や発達水準、様々な社会的能力の評価のみならず、その人をとりまく家族力動や環境、さらに援助資源などの外的環境の査定も内容として含まれます。本実習では、投影法を主とした心理テストの実施方法及び解釈方法を学習すること、検査・面接場面での行動観察のポイントを理解することを目標とします。
	授業計画 1. 心理査定とは 2. 心理査定のために必要な情報・面接・心理テスト・観察法について 3～6. 描画法を学ぶ（バウムテスト・人物画・家族画など） 7～9. 風景構成法を学ぶ 10～14. TATを学ぶ 15. まとめ
	テキスト 赤塚大樹他『心理臨床アセスメント入門』（培風館 1996年）
	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
	学生に対する評価 出席30%、レポート70%
	その他
	学期 後期
	単位数 2
	担当者 森崎雅好

科目名 臨床心理学演習Ⅰ-1	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：自身の関心のあるテーマにそった文献に親しみ、研究テーマをみつける。3回生対象。 テーマ：卒業論文作成のための準備
	授業の概要 臨床心理学及びスピリチュアルケア学の領域に関して、理論や実験、実習等で学習した内容を深めるために、文献に親しみ、学生それぞれが研究テーマをみつける。
	授業計画 臨床心理学及びスピリチュアルケア学の領域で、各自が関心のあるテーマについて文献資料を収集する。資料の収集の方法、レポート作成の方法を学ぶ。また、その資料をまとめて発表し、受講生の皆で議論を行う。
	テキスト 大野木裕明・中澤潤『心理学マニュアル 研究法レッスン』（北大路書房 2002年）
	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
	学生に対する評価 出席30%、各自の取り組み（授業での発表、レポート作成）70%
	その他
	学期 前期
	単位数 1
	担当者 森崎雅好

科目名 臨床心理学演習Ⅰ-2	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：自身の関心のあるテーマにそった文献を収集し、概要をまとめて発表する力を身につける。3回生対象。 テーマ：卒業論文作成のための準備
	授業の概要 学生は、卒業論文につながる研究テーマを設定し、文献の収集、概要をまとめて発表する。全員で議論することで問題点の明確化をはかる。
	授業計画 各自の興味関心のもとに文献研究を行い、概要をまとめてレポートにし発表する。これを卒業論文の予備的研究とする。全員で議論していく中で問題点の明確化をはかり、各自の問題意識を深める。 受講者全員が、各自のテーマに沿って発表及び議論を行い、各自の卒業論文作成の準備をすすめていく。
	テキスト 大野木裕明・中澤潤『心理学マニュアル 研究法レッスン』（北大路書房 2002年）
	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
	学生に対する評価 出席30%、各自の取り組み（授業での発表、レポート作成）70%
	その他
	学期 後期
	単位数 1
	担当者 森崎雅好

科目名	社会福祉原論 I
社会福祉原論 I	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標：社会経済状況の変化とそれに伴う国民生活の変容に対応して、歴史的に発展してきた社会福祉の概念と役割について理解する。 テーマ：社会福祉の基礎的理解</p> <p>授業の概要 社会福祉全般について、基礎的な事項について学習する。歴史と現状についてわかりやすく解説し、平易に理解することを目的とする。</p> <p>授業計画 1. 現代社会と社会福祉その1 2. 現代社会と社会福祉その2 3. 社会福祉の対象分野と福祉ニードその1 4. 社会福祉の対象分野と福祉ニードその2 5. 社会福祉援助活動の意義・組織・方法その1 6. 社会福祉援助活動の意義・組織・方法その2 7. 社会福祉援助活動の担い手その1 8. 社会福祉援助活動の担い手その2 9. 社会福祉の法と行財政その1 10. 社会福祉の法と行財政その2 11. 社会福祉の運営問題その1 12. 社会福祉の運営問題その2 13. 社会福祉運営の原理と枠組みその1 14. 社会福祉運営の原理と枠組みその2</p> <p>テキスト 社会福祉士養成講座『社会福祉原論』中央法規出版</p> <p>参考書・参考資料等 『社会福祉士のための基礎知識』I～III 中央法規出版</p> <p>学生に対する評価 出席率・レポート・筆記試験を総合して評価する。</p> <p>その他</p>
学期	前期
単位数	2
担当者	山口幸照

科目名	社会福祉原論 II
社会福祉原論 II	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標：わが国の社会福祉の法制度、運営実施体制、施設及び在宅福祉、財政等の仕組みやその具体的な内容について近年の堂子も含め学習する。 テーマ：社会福祉の具体的な内容を把握する</p> <p>授業の概要 社会具駆使の今日的以後及び近年の動向について全体的に理解する。社会福祉援助技術の原理原則を中心に、その具体的方法の概要について学習する。社会福祉士や介護福祉士等の福祉マンパワーの概要を学習する。</p> <p>授業計画 1. 社会福祉の運営システムその1 2. 社会福祉の運営システムその2 3. 社会福祉の行政組織その1 4. 社会福祉の行政組織その2 5. 社会福祉法人の組織と運営その1 6. 社会福祉法人の組織と運営その2 7. 社会福祉従事者の現状と課題その1 8. 社会福祉従事者の現状と課題その2 9. 社会福祉供給システムその1 10. 社会福祉供給システムその2 11. 民間福祉サービスの組織と運営その1 12. 民間福祉サービスの組織と運営その2 13. 福祉産業の振興と開発その1 14. 福祉産業の振興と開発その2</p> <p>テキスト 社会福祉士養成講座『社会福祉原論』中央法規出版</p> <p>参考書・参考資料等 『社会福祉士のための基礎知識』I～III 中央法規出版</p> <p>学生に対する評価 出席率・レポート・筆記試験を総合して評価する。</p> <p>その他</p>
学期	後期
単位数	2
担当者	山口幸照

科目名	地域福祉各論 I (別)
地域福祉各論 I (別)	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地域福祉の言葉の意味や考え方、概念規定について学習する。地域福祉は比較的新しい概念である。その内容について学習する。 テーマ：地域福祉の概念と展開方法</p> <p>授業の概要 地域福祉は1990年以降本格的に実体化したものである。しかし、現代では社会福祉実践そのものを指す言葉として使われることが多い。ここでは実質上社会福祉と同義語となった地域福祉の概念と展開方法について学習する。</p> <p>授業計画 1. 地域福祉のあゆみ 2. 地域福祉の概念 3. 地域福祉の内容 4. 地域福祉の背景 5. 地域福祉の歴史・地域福祉準備期 6. 地域福祉の歴史・体系期 7. 地域福祉の歴史・基盤形成期 8. 地域福祉の歴史・展開期 9. セツルメントの理解 10. コミュニティーケア 11. コミュニティープラン 12. 在宅福祉サービス 13. 福祉ニード把握と地域社会 14. 福祉サービスの連携 15. コミュニティー形成・住民参加</p> <p>テキスト 社会福祉士養成講座『地域福祉論』中央法規出版</p> <p>参考書・参考資料等 『社会福祉士のための基礎知識』I～III 中央法規出版</p> <p>学生に対する評価 出席率・レポート・筆記試験を総合して評価する。</p> <p>その他</p>
学期	前期
単位数	2
担当者	山口幸照

科目名	地域福祉各論 II (別)
地域福祉各論 II (別)	<p>授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地域福祉の目標として福祉コミュニティの形成がある。地域を基盤とした社会福祉をみんなでどのように作っていくのかについて考えたい。 テーマ：地域福祉の方法と実践課題</p> <p>授業の概要 地域福祉実践を展開するには①福祉・保健・医療の整備 ②福祉・保健・医療の総合化 ③福祉増進・予防活動の促進 ④福祉環境の整備 ⑤住民参加活動の支援が必要となる。この5つを柱に地域福祉実践について学習する。</p> <p>授業計画 1. 相談・情報提供サービスの総合化 2. ケアマネジメント 3. 老人保健福祉計画 4. 福祉増進・予防活動 5. 福祉環境づくり 6. 住民参加の福祉活動支援 7. ボランティア活動・福祉教育 8. NPOの福祉活動 9. 民生委員・児童委員 10. 社会福祉協議会 11. 社会福祉施設 12. 地域組織化と福祉組織化 13. 公的財源 14. 共同募金 15. 民間財源</p> <p>テキスト 社会福祉士養成講座『地域福祉論』中央法規出版</p> <p>参考書・参考資料等 『社会福祉士のための基礎知識』I～III 中央法規出版</p> <p>学生に対する評価 出席率・レポート・筆記試験を総合して評価する。</p> <p>その他</p>
学期	後期
単位数	2
担当者	山口幸照

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：呂 新吾著『呻吟語』『人間論』を読む。 テーマ：『呻吟語』における「呻吟」とは、「病気に苦しみながら発する沈痛なうめき声」という意味で、人間とはどうあるべきか、人生をどう生きるべきかなど、われわれにとって切実な問題を様々な角度から解き明かしたものである。従って、本書の購読を通して、スピリチュアルケアの現場で要求される豊かな感性と人間性を養ってもらいたいと考えている。
スピリチュアルケア援助論Ⅶ	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
前谷彰	
	授業の概要 『呻吟語』『人間論』は56項目から成っているため、1回の授業で4・5項目を取り上げ、順次様々な観点から解説を加えながら進めてゆく。
	授業計画 1. オリエンテーション 『呻吟語』という書物についての簡単な説明を行う。 2. 2回目以降は1講義につき、4・5項目の購読と解説を行いながら13回で終了する予定。 3. 残りの1・2回の授業では学習した内容を踏まえて、自由に意見交換を行う。
	テキスト オリエンテーションの際にテキストのコピーを配布する。
	参考書・参考資料等 必要に応じて授業時に紹介する。
	学生に対する評価 出席率と授業時の態度とで総合的に評価する。筆記試験もレポートもなし。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：スピリチュアルケアや看護などの事例検討を通じて、スーパービジョンの意味と重要性について体験的に理解する。 テーマ：スーパービジョンとスピリチュアリティ
スピリチュアルケア援助論Ⅷ	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
井上ウイマラ	
	授業の概要 前半は、教材による事例検討を中心に学ぶ。後半は、各自が事例を提出して、グループディスカッションをした上で、教員がスーパービジョンをする。
	授業計画 1. 自己紹介と授業の流れについて 2. 魂の働きを読み解く視点 3. 解脱(vimutti)がもたらす俯瞰的視点 4. 事例検討 5. 事例検討 6. 事例検討 7. 事例検討 8. 悟りを支える要素(bojjhanga)に学ぶ 9. 死生知(cutūpapāta nāna)に学ぶ 10. 事例提出とスーパービジョン 11. 事例提出とスーパービジョン 12. 事例提出とスーパービジョン 13. 師弟関係とスピリチュアリティ 14. ふりかえりとまとめ 15. この授業をどのように将来につなげるか
	テキスト 『スピリチュアルケアへのガイド』窪寺俊之・井上ウイマラ 『看護と生老病死』井上ウイマラ 三輪書店
	参考書・参考資料等 そのつど必要に応じて提示します。
	学生に対する評価 出席と参加態度(50%)、期末レポート(50%)で評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文の題目設定から始め、論文を作成遂行する上での各段階を順次乗り越えて行くこと。 テーマ：卒業論文作成の実際。
スピリチュアルケア演習Ⅱ-1	
学期	
前期	
単位数	
1	
担当者	
室寺義仁	
	授業の概要 受講生が自ら設定した研究課題を中心に、卒業論文完成に至るまでの資料操作、研究方法、論述、表現法など、スピリチュアルケア領域での卒論作成上の学的手法について、個々人に対応した教育・研究指導を行う。
	授業計画 受講生個々人の卒論への取り組み具合に応じ、教員・受講生全員による意見の交換を行いながら卒論演習を展開する。 前期セメスターでは、受講生各自の論題を設定することから始め、当該論題と関連する課題にも取り組むべき課題があるはずであることに注意を喚起しながら、受講生それぞれが研究課題発表を行うことを通じて、具体的に、論文の構成、論述、表現法などを教授して行く。
	テキスト 使用しない。
	参考書・参考資料等 必要に応じて、適宜、紹介する。
	学生に対する評価 各受講生の発表内容と意見交換の場における学術的な対話内容、すなわち、授業参加態度を40% 学期年レポートを60% をもって総合評価を行う。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文の題目設定から始め、論文を作成遂行する上での各段階を順次乗り越えて行くこと。 テーマ：卒業論文作成の実際。
スピリチュアルケア演習Ⅱ-2	
学期	
後期	
単位数	
1	
担当者	
室寺義仁	
	授業の概要 受講生が自ら設定した研究課題を中心に、卒業論文完成に至るまでの資料操作、研究方法、論述、表現法など、スピリチュアルケア領域での卒論作成上の学的手法について、個々人に対応した教育・研究指導を行う。
	授業計画 受講生個々人の卒論への取り組み具合に応じ、教員・受講生全員による意見の交換を行いながら、卒論演習を展開する。 後期セメスターでは、卒論作成途上の課題研究状況について、各自が発表を行うことを通じて、具体的に、構成、論述、表現法などを教授して行く。
	テキスト 使用しない。
	参考書・参考資料等 必要に応じて、適宜、紹介する。
	学生に対する評価 各受講生の発表内容と意見交換の場における学術的な対話内容、すなわち、授業参加態度を40%、学年末試験(論述)を60% をもって総合評価を行う。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文のテーマを決定し、実験、観察、調査、テスト、面接などを実施する。4 回生対象。 テーマ：卒業論文作成の実際
臨床心理学演習Ⅱ-1	
学期	
前期	
単位数	
1	
担当者	
森崎雅好	
	授業の概要 卒業論文作成のために、先行研究を参考にし、各自の関心と興味に基づきながらテーマを決定する。基礎文献の選定、研究データの収集をし、発表と議論を行う。
	授業計画 1. 研究テーマを設定する。 2. 設定されたテーマに関する文献収集を行う。 3. 研究すべき問題点を明らかにし、議論を通じて卒業論文の構想を練る。 4. 研究計画を立て、計画した手順（観察・調査・テスト・面接）を実施する。
	テキスト なし
	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
	学生に対する評価 出席30%、各自の取り組み（授業での発表、レポート作成）70%
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：卒業論文の作成。4 回生対象。 テーマ：卒業論文作成の実際
臨床心理学演習Ⅱ-2	
学期	
後期	
単位数	
1	
担当者	
森崎雅好	
	授業の概要 卒業論文を仕上げるための個別指導を行う。
	授業計画 1. 研究テーマに沿って集めた文献、データ等の分析を行う。 2. 分析から考察を行い、卒業論文を仕上げる。
	テキスト なし
	参考書・参考資料等 適時、紹介する。
	学生に対する評価 出席30%、各自の取り組み（授業での発表、レポート作成）70%
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：地域福祉の展開と方法 テーマ：地域を基盤とした地域自立支援システムの構築。
社会福祉課題演習Ⅰ	
学期	
前期	
単位数	
2	
担当者	
山口幸照	
	授業の概要 少子高齢化社会をむかえて、地域を基盤とした地域自立支援システムの構築が緊急の課題である。 ここでは近年の地域福祉の同行をふまえ、地域での住民の相互援助活動やボランティア活動の推進や在宅サービスや福祉のまちづくりなどを理解することをねらいとする。
	授業計画 1. 地域福祉に関する文献の検討 2. 地域福祉に関する課題の議論 3. 地域福祉に関する調査研究 4. 地域福祉と行政・社会福祉協議会との関わりの理解 5. 地域福祉の政策の動向の研究
	テキスト 「地域福祉」大橋謙策著
	参考書・参考資料等 講義の中で必要に応じ指示する。
	学生に対する評価 出席店・口頭発表・レポート・筆記試験などを総合して評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：ソーシャルインクルージョンの理論と実践 テーマ：地域を基盤とした地域自立支援システムの構築。
社会福祉課題演習Ⅱ	
学期	
後期	
単位数	
2	
担当者	
山口幸照	
	授業の概要 ソーシャルインクルージョンを学習し、最新の地域福祉の性格と実践を学習する。また、地域福祉の構成要件を学習し理論的枠組みについて理解する。 地域福祉の基礎的枠組みを確認し、各自のテーマを深め卒業論文を作成する。
	授業計画 1. 在宅サービスの政策動向の研究 2. コミュニティワークの理論の理解 3. 地域福祉の主体形成理論の理解 4. 福祉教育・ボランティア学習の理解 5. ソーシャルインクルージョンの理論の理解
	テキスト 「地域福祉」大橋謙策著
	参考書・参考資料等 講義の中で必要に応じ指示する。
	学生に対する評価 出席店・口頭発表・レポート・筆記試験などを総合して評価する。
	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：デジタルアーカイブの現状を知り、実際に作品をつくる。 テーマ：インパクトのあるショートフィルムの作成
総合科目 〔デジタルアーカイブ〕	授業の概要 まずはテキストを読み進めながら、いろいろなアーカイブを利用者としてインターネット空間で訪問してみる。そのなかからデジタルアーカイブの特色を探り、それを踏まえてアーカイブづくりにも挑戦する。
学期	授業計画 1. ガイダンス 2. デジタルアーカイブの実際 (1) 3. デジタルアーカイブの実際 (2) 4. デジタルアーカイブの実際 (3) 5. 記憶の外在／記憶というスペクタクル 6. 専有と共有／文化記憶の社会資本 7. 電網の中の文化経済／離散するアーカイブ 8. 米国の文化情報基盤／インターネット・アーカイブの挑戦 9. 記憶のゆくたて／記憶の編集と反転 10. デジタルアーカイブ制作実習 (1) 11. デジタルアーカイブ制作実習 (2) 12. デジタルアーカイブ制作実習 (3) 13. デジタルアーカイブ制作実習 (4) 14. デジタルアーカイブ制作実習 (5) 15. デジタルアーカイブ制作実習 (6)
前期	テキスト 武邑光裕『記憶のゆくたて』東京大学出版会、3990円 ※生協・書店で購入しておくこと。
単位数	参考書・参考資料等 関心のある受講者には個別に紹介する。
2	
担当者	学生に対する評価 ・講義時の小テスト …30点 ・期末試験 …30点 ・作品のできばえ …40点
藤吉圭二	その他 ・授業は回によって通常教室、情報処理演習室いずれかで実施する。 ・掲示に注意すること。 ・受講希望者多数のばあい初回授業で抽選によって決める。初回に欠席したばあい自動的に受講できなくなる可能性がある。 ・テキストを購入しておくこと (試験でも使用する)。 ・初回に配布するガイダンスプリントを必ず入手しておくこと。

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：英語情報の入手
英語Ⅲ―1〔留学用〕	授業の概要 インターネットを占める言語は70%近くが英語である。そこには多方面にわたる英語情報が含まれている。この授業では、学生諸君にとって役立つと思われる英語情報の入手の仕方、およびその内容を理解することを学ぶ。
学期	授業計画 前期は主に検索方法、英語情報の入手の説明を中心にし、後期は実際にネット上の英文を読むことにする。
前期	
単位数	テキスト テキストはありませんが、USBメモリーを用意すること。
1	参考書・参考資料等
担当者	学生に対する評価 出席状況と提出物で評価する。
高倉正行	その他

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標： テーマ：英語情報の整理と読解
英語Ⅲ―2〔留学用〕	授業の概要 インターネットを占める言語は70%近くが英語である。そこには多方面にわたる英語情報が含まれている。この授業では、学生諸君にとって役立つと思われる英語情報の入手の仕方、およびその内容を理解することを学ぶ。
学期	授業計画 後期は主に英字新聞を読んでいます。易しい内容のものから徐々に難しい内容の英文に進んでいきます。
後期	
単位数	テキスト テキストはありませんが、USBメモリーを用意すること。
1	参考書・参考資料等
担当者	学生に対する評価 出席状況と提出物で評価する。
高倉正行	その他

科目名	英語Ⅳ-1 (大学院特進)
授業の到達目標及びテーマ	到達目標: 宗教、特に真言密教に関する英文テキストを読むことを通じて現代社会における宗教の意味を考察する。 テーマ: 英文を通じて真言密教の文化と教えを再確認
授業の概要	最近、真言密教に関する優秀な論文が英語で発表されている。いくつかのそのような論文を読んで、正しく和訳する上、英文でどのように真言密教の歴史・文化・教義・観法などを表現できるか、またその結果を海外布教に展開するのみならず、それによって日本の現代社会における宗教の意味を再確認する。阿字観についての論文を今回予定している。
授業計画	1. オリエンテーション、英語読解能力を査定する 2. 英文テキストを配布して、内容を英語と日本語で講義して、講読を開始する。 3~15. 以下、英訳テキストにもとづいて和訳を試みて、内容についてディスカッションを行う。
テキスト	Nicoloff, Philip L., <i>Sacred Kōyasan</i> . をコピーで配布 Payne, Richard K., "Ajikan: Ritual and Meditation in the Shingon Tradition" をコピーで配布
参考書・参考資料等	必要に応じて授業で指示する
学生に対する評価	レポート 60%; 出席含む平常点 40%
その他	参加型の授業で、受講生全員は毎回該当のテキストの和訳と研究を予習する。 上級の英文能力が必要。授業を日本語と英語両方で進める。
学期	前期
単位数	1
担当者	ト・ドライライン

科目名	英語Ⅳ-2 (大学院特進)
授業の到達目標及びテーマ	到達目標: 宗教、特に真言密教に関する英文テキストを読むことを通じて現代社会における宗教の意味を考察する。 テーマ: 英文を通じて真言密教の文化と教えを再確認
授業の概要	最近、真言密教に関する優秀な論文が英語で発表されている。いくつかのそのような論文を読んで、正しく和訳する上、英文でどのように真言密教の歴史・文化・教義・観法などを表現できるか、またその結果を海外布教に展開するのみならず、それによって日本の現代社会における宗教の意味を再確認する。阿字観についての論文を今回予定している。
授業計画	1. オリエンテーション、英語読解能力を査定する 2. 英文テキストを配布して、内容を英語と日本語で講義して、講読を開始する。 3~15. 以下、英訳テキストにもとづいて和訳を試みて、内容についてディスカッションを行う。
テキスト	Nicoloff, Philip L., <i>Sacred Kōyasan</i> . をコピーで配布 Payne, Richard K., "Ajikan: Ritual and Meditation in the Shingon Tradition" をコピーで配布
参考書・参考資料等	必要に応じて授業で指示する
学生に対する評価	レポート 60%; 出席含む平常点 40%
その他	参加型の授業で、受講生全員は毎回該当のテキストの和訳と研究を予習する。 上級の英文能力が必要。授業を日本語と英語両方で進める。
学期	後期
単位数	1
担当者	ト・ドライライン

科目名	中国語Ⅰ(初級)+中国語Ⅱ(初級)
授業の到達目標及びテーマ	到達目標: 「学問のための学問」ではなく、実社会で少しでも使える語学の習得を目指す。外国語学習を通して母国語と自国文化をより深く理解し、国際的な広い視野をもった人材を養いたい。 テーマ: 中国語の基礎学習 ニーハオから始めよう!
授業の概要	視覚的に「漢文」として中国語をとらえるのではなく「聞く」「話す」に重点をおいた授業を行う。 正確な発音をマスターし、日常の挨拶語や平易な文など基本的文型の修得を目指す。
授業計画	【前期】 1. 年間授業計画の説明。中国についての一般常識、中国語の特性、外国語学習の方法と意義、中国語学習の注意点など。 2. 「四声」と呼ばれる四つの声調と、中国語の発音記号である「ピンイン」の習得。徹底的な発音練習。 3. 「四声」と「ピンイン」の習得。中国独特の漢字である「簡体字」を学習。 4. 「四声」と「ピンイン」の習得。正確な発音ができるよう繰り返し練習する。電子辞書を含む中国語辞書の紹介と使い方の説明。 5. 「簡体字」と「ピンイン」で受講者の氏名を書いたカードを配り、名前を使った発音練習。以後出欠は中国語とする。 6. 「四声」と「ピンイン」をある程度理解した上で、テキストに従って挨拶や基本的な文型を学習する。 7. 14. テキストを中心とした授業。ノートに書くのではなく、頭に覚えこむような授業につとめる。 8. テキストは前期中に第1~4課まで学習する予定(学生の理解度により随時学習単元を増減)。ただし文法解説は必要最低限とし、「聞く」「話す」に重点をおいた授業に徹する。常用文の暗誦(文章の丸暗記こそ習得の一番の近道!)を義務付け、実際に「聞く」「話せる」中国語の習得をめざす。 15. 前期試験について。アンケート。
テキスト	「はじめまして! 中国語」白水社 喜多山幸子 鄭幸枝 著 ※生協で購入
参考書・参考資料等	辞書(小学館の『中日辞典』など)はぜひとも購入してもらいたい。電子辞書やその他の参考書籍についても授業中随時紹介する。その都度必要な資料を作成、配布する。
学生に対する評価	①試験(評価50%) ②授業中の発表や受講態度(評価25%) ③出欠状況(評価25%)を基準とし、総合的に判定する。但し、中国語に自信のある学生は出欠を問わず試験に合格すれば及第点は与える。
その他	聞けぬ話せぬ語学では実社会では役に立たない。受講者の大部分は文法学者ではなく、多少とも実際に使える語学を志していると考えられる。簡単な挨拶文から始めるので、学生諸君には積極的に会話する姿勢を要求したい。
学期	前期
単位数	2+1
担当者	土生川正賢

科目名	中国語Ⅰ(上級)+中国語Ⅱ(上級)
授業の到達目標及びテーマ	到達目標: 国際的な視野をもち、中国語を使って仕事ができる人材を育成したい。我が国の歴史・文化・政治的立場等を、中国語で堂々と主張できる国際人の養成。 テーマ: 実践的中国語 中国語で意思表示しよう!
授業の概要	基本的には初級クラスの延長であり、受講生の語学力にあわせた個別指導を行うので安心して受講して頂きたい。各々のレベルに応じて、実践的な中国語を修得できるよう指導する。
授業計画	【前期】 1. 年間授業計画の説明。初級クラスで学んだ中国語の発音と基本的文型など、語学力のチェックと復習。 2. 初級クラスで学んだ中国語の基礎を復習。発音の再チェック。辞書・参考文庫の紹介。 3. 8. 初級クラス同様「聞く」「話す」に重点を置き、文法の基礎固めをしながら、初級クラスでやり残したテキストの単元を学習。 9. 14. 受講生の語学力に適した教材を選択し、その都度配布する。 10. 14. 受講生の語学力に適した教材を選択し、その都度配布する。 11. 14. 受講生の語学力に適した教材を選択し、その都度配布する。 12. 14. 受講生の語学力に適した教材を選択し、その都度配布する。 13. 14. 受講生の語学力に適した教材を選択し、その都度配布する。 14. 14. 受講生の語学力に適した教材を選択し、その都度配布する。 15. 前期試験について。アンケート。
テキスト	初級クラスで使った教科書の未修単元。 今年度は「はじめまして! 中国語」白水社 喜多山幸子・鄭幸枝 著 ※生協で購入
参考書・参考資料等	上記テキストを全て学習した後は、その都度必要な教材・資料を配布する。電子辞書やその他の参考書籍は授業中随時紹介する。辞書は毎回必携(電子辞書可)。
学生に対する評価	筆記試験と中国語による個別面接試験。授業中の発表やレポート、受講態度に出欠状況を加味して総合的に判定する。但し、中国語に自信のある学生は、出欠にかかわらず試験に合格すれば及第点は与える。
その他	上級クラスではあるが、受講生のレベルにあわせた個別指導を心がけるので心配なく! 諸君の先輩の中には北京大・復旦大・中山大など中国一流の大学院に留学し学位取得した者もいる。井の中の蛙で終わらないでほしい。できる限り中国語を用いて中国語の講義をしたい。諸君の自発的な授業参加を希望する。
学期	前期
単位数	2+1
担当者	土生川正賢

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：サンスクリット語の単文読解能力を身につける テーマ：サンスクリット音論トレーニング
サンスクリット語初級Ⅰ＋サンスクリット語初級Ⅱ	授業の概要 サンスクリット語における音論を中心に、サンスクリット語という言語のダイナミズムに触れ、ことばの本質的世界の楽しさを味わうことのできる感性を養っていく。後期からは、サンスクリット語の単文を和訳するトレーニングを行うが、前期で学習した内容を特に音論を中心に復習・反復しながら単文読解能力を身につけていく。
学期	【前期】 1. 導入：サンスクリット語とはどのような言語であるかについて解説する。 2. サンスクリット語のアルファベットとデーヴァナーガリー文字について理解する。 3. Guṇa・Vṛddhi法則を中心とした音論に関する知識を深める。 4. 動詞の現在組織 (Present) に関する知識を養う。 5. 語根類推トレーニングを行う。 6. 同上 7. 連声 (Sandhi) 法則についての知識を深める。 8. 連声法則のトレーニングを行う。 9. 同上 10. 名詞組織についての知識を深める。 11. 同上 12. 代名詞の特徴について解説。前置詞や副詞等についての知識を深める。 13. 動詞組織についての知識を深める。 14. 同上 15. 名詞造語法・準動詞について解説する。
通年	【後期】 1. 複合語 (Compound) の知識を深め、そのトレーニングを行う。 2. 同上 3. 単文読解能力のトレーニングを行う。 4. 同上 5. 同上 6. 同上 7. 同上 8. 同上 9. 同上 10. 仏教文献 (『法華経』) の読解能力を身につける。 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 同上 15. 総まとめ
単位数	1 2 1
担当者	テキスト 担当者作成の『サンスクリット語サブグラマー』 辻直四郎『サンスクリット文法』岩波全書 (各自生協で注文購入すること) 参考書・参考資料等 学生に対する評価 出席率 (20%)、授業態度 (20%)、期末試験 (60%) で評価する。 その他
前谷彰	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：文法の基礎と応用を学び、サンスクリット文学を独学できるようにするための実践的知識 (文法書・辞書の使用方法) を習得することを目標とする。 テーマ：仏教の韻文作品、散文作品を読む
サンスクリット語上級Ⅰ＋サンスクリット語上級Ⅱ	授業の概要 サンスクリット語初級の授業において培った基礎を確認しながら、前期は『エウカガター』などの説語経典をはじめとする、小部の仏教韻文作品数点を読みすめ、韻文における文章把握の手がかりをつかむ。後期は、基礎的な散文を学ぶために、平易かつ厳密な表現で定評のある、ラトナーカラチャーントイの著作を読み、そのうえで、出席者の要望に応じて『理趣経』などを読む。 サンスクリット語の精緻な文法体系に慣れ親しみ、読解のためのコツをつかんで密教経典の深みを感じてもらうことをめざす。
学期	【前期】 1. 導入 2. 梵文密教文献の概説と近年の写本研究の動向について 3. 韻文の規則について知る 4. 仏教韻文作品を読む (1) 5. 仏教韻文作品を読む (2) 6. 仏教韻文作品を読む (3) 7. 仏教韻文作品を読む (4) 8. 仏教韻文作品を読む (5) 9. 仏教韻文作品を読む (6) 10. 仏教韻文作品を読む (7) 11. 仏教韻文作品を読む (8) 12. 仏教韻文作品を読む (9) 13. 仏教韻文作品を読む (10) 14. 仏教韻文作品を読む (11) 15. テスト
通年	【後期】 1. インド古典概論 2. サンスクリットの散文、注釈文献の様式 3. ラトナーカラチャーントイの著作を読む 4. ラトナーカラチャーントイの著作を読む (1) 5. ラトナーカラチャーントイの著作を読む (2) 6. ラトナーカラチャーントイの著作を読む (3) 7. ラトナーカラチャーントイの著作を読む (4) 8. ラトナーカラチャーントイの著作を読む (5) 9. ラトナーカラチャーントイの著作を読む (6) 10. ラトナーカラチャーントイの著作を読む (7) 11. ラトナーカラチャーントイの著作を読む (8) 12. ラトナーカラチャーントイの著作を読む (9) 13. ラトナーカラチャーントイの著作を読む (10) 14. ラトナーカラチャーントイの著作を読む (11) 15. テスト
単位数	1 2 1
担当者	テキスト テキストは、コピー配布する。 参考書・参考資料等 ランマン『サンスクリット読本』 辻直四郎『サンスクリット文法』岩波書店。 G.A. Tubb, Scholastic Sanskrit: A Handbook for Students, Columbia Univ Pr 2007. 学生に対する評価 授業中の発表など30%、出席30%、テスト (前期・後期に各一回ずつ) 40% その他
加納和雄	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 到達目標：【前期】古典チベット語の基礎文法の習得 【後期】簡単な文学作品にたしきみながら古典チベット語の文献の読解力を養う。 テーマ：【前期】チベット語文法入門 【後期】チベット語文献に親しむ
チベット語Ⅰ＋チベット語Ⅱ	授業の概要 はじめにチベット語を学ぶ人のための入門クラス。 前期は、文字の書き方や、古典チベット語の文法の基礎を解説しながら、チベット語の特徴を学ぶ。また、発音やアクセントについてはラサ地方の口語チベット語を参考にしながら、チベット語の生きた姿にも慣れ親しむ。 後期は、前期の講義で学習した文法を復習しながら、仏典、伝記、詩を中心に、チベット語 (文體) の文献を少しずつ読む。 チベットの文化に興味のある方、卒業論文でチベット語の資料を扱う方は受講して下さい。
学期	【前期】 1. オリエンテーション 2. 文字を学ぶ 3. 構字法と発音 (1) 4. 構字法と発音 (2) 5. 辞書の引き方 6. 名詞、人称代名詞 7. 数詞と数の表現 8. 指示代名詞と形容詞 9. 動詞と助動詞 (1) 10. 動詞と助動詞 (2) 11. 動詞と助動詞 (3) 12. 格助辞 (1) 13. 格助辞 (2) 14. その他の辞、副詞 15. 疑問代名詞、関係代名詞 ※折に触れて、チベットの文化や歴史についても紹介します。
通年	【後期】 1. 導入 2. 重要文法事項の再確認 3. チベット語短篇作品を読む - 仏典 - (1) 4. チベット語短篇作品を読む - 仏典 - (2) 5. チベット語短篇作品を読む - 仏典 - (3) 6. チベット語短篇作品を読む - 仏典 - (4) 7. チベット語短篇作品を読む - 伝記 - (5) 8. チベット語短篇作品を読む - 伝記 - (6) 9. チベット語短篇作品を読む - 伝記 - (7) 10. チベット語短篇作品を読む - 伝記 - (8) 11. チベット語短篇作品を読む - 韻文作品 - (9) 12. チベット語短篇作品を読む - 韻文作品 - (10) 13. チベット語短篇作品を読む - 韻文作品 - (11) 14. チベット語短篇作品を読む - 韻文作品 - (12) 15. テスト ※折に触れて、チベットの仏教や歴史についても紹介します。
単位数	1 2 1
担当者	テキスト コピーを配布する。 H.A. イェンシュクあるいはチャンドラ・ダスの『藏英辞典』(臨川書店) をどちらも購入のこと。 参考書・参考資料等 山口瑞鳳 [概説]チベット語文法 (春秋社) 松本栄一・奥山直司『チベット語[マンドラの国]』(小学館) ※その他、必要に応じて講義の中で指示します。 学生に対する評価 授業中の発表など30%、出席30%、テスト40% その他
加納和雄	

科目名	授業の到達目標及びテーマ 自らの健康・体力の保持増進を図るための素地を養い、良好な人間関係や社会性を身につけることを目的とする。
体育実技ⅠーⅡ	授業の概要 【前期】バレーボールを中心に団体競技のゲームを楽しみながら、仲間づくりと生涯スポーツとして親しめるように指導。 【後期】バドミントンを中心に個人競技のゲームを楽しみながら、仲間づくりと生涯スポーツとして親しめるように指導。
学期	【前期】 1. 体育授業についての諸注意 2. 基礎動作の徹底 3. 同上 4. 班別にチームづくり・ゲームを楽しむ 5. 協力してゲームを楽しむ 6. 同上 7. チームメイトと一体となる動きを確認しながらゲームを楽しむ 8. 同上 9. チームを再編成して、ゲームを楽しむ 10. チームメイトと一体となる動きを確認しながらゲームを楽しむ 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 実技試験 15. チームメイトと協力して、ゲームを楽しむ
通年	【後期】 1. バドミントンのルール説明・諸注意 2. ゲームを楽しみながら、技術を磨く 3. パートナーづくりとゲームを楽しむ、メンタル面を学ぶ 4. 同上 5. 同上 6. 同上 7. 同上 8. 同上 9. 同上 10. 同上 11. 同上 12. 同上 13. 同上 14. 実技試験 15. パートナーづくりとゲームを楽しむ
単位数	1 2 1
担当者	テキスト 特になし 参考書・参考資料等 該当せず 学生に対する評価 実技試験、出席状況による総合評価 その他
中村哲二	